



The cover features a collage of images related to energy and sustainability. At the top left, there is a large green leaf. The central part shows a dam with a reservoir, a high-voltage power transmission tower, and a coastal industrial facility with a tall chimney. At the bottom, there are wind turbines on a green hillside. The entire background is overlaid with large, sweeping green curves.

# SUSTAINABILITY REPORT 2012

J-POWERグループ  
サステナビリティレポート | 2012

エネルギーと環境の共生をめざして

# エネルギーと環境の共生をめざして

「わたしたちは人々の求めるエネルギーを不断に提供し、日本と世界の持続可能な発展に貢献する」という企業理念のもと、J-POWERグループはエネルギーと環境の共生をめざして様々な事業活動に取り組んでいます。

## 編集方針

- J-POWERグループは、日本と世界の持続可能な発展 **用語集** に貢献するという企業理念のもと企業活動を進めています。社会とともに企業の持続可能な発展・成長を目指す意を込めて「サステナビリティレポート」とし、「経営」、「社会」、「環境」の3つの側面に分けて編集しました。
- 対象連結子会社を含めることにより、本レポートをJ-POWERグループレポートとして位置付けています。
- 特集では、電力の安定供給を果たすためのJ-POWERグループの石炭火力発電について紹介しています。
- 「事業活動と環境」のINPUT・OUTPUTをはじめ環境負荷量等のデータについては、J-POWERグループ全体で集計し、共同出資の場合は出資比率に応じて集計しました。
- J-POWERグループに対する課題や期待について、社外有識者よりご意見をいただきました。(P81に掲載)
- 客観的な信頼性を確保するため、新日本サステナビリティ(株)による第三者保証を得ています。(P83に掲載)
- 2011年度版レポートについて、読者アンケートを通じてご意見をいただきました。(P80に概要を掲載)
- より多くの方へ適切に情報を伝えられるよう、視認性・可読性に優れたユニバーサルデザインフォントを採用しています。

## 【対象期間】

2011年4月～2012年3月

(会計年度が1～12月の会社については、2011年1月～2011年12月。また、一部記事内容は2012年4月以降のものも記載。)

## 【対象範囲】

J-POWERおよびJ-POWERグループ会社(企業会計上の連結子会社)

※上記以外の場合は、当該箇所にその旨を記載。

## 【参考にしたガイドライン】

環境省「環境報告ガイドライン2012年版」

GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2006」 **用語集**

【報告書発行履歴】 1998年～

【発行月】 2012年7月

## 【将来の見通しに関する注意事項】

本誌に掲載されている計画、戦略、見込みなどは、現在入手可能な情報に基づくJ-POWERの判断により作成されています。したがって、今後生じる様々な要素の変化により異なる結果になる可能性があります。

本レポートは、J-POWERホームページ「J-POWERグループサステナビリティレポート2012」に掲載しています。なお、経営情報のうち事業計画、財務情報などについては「アニュアル・レポート」に掲載しています。

<http://www.jpowers.co.jp>

## Contents

編集方針・目次	1
J-POWERグループ概要	3
トップメッセージ	5
J-POWERグループの社会的責任(CSR)	7

## 特集

ベース電源を担う石炭火力発電	9
----------------	---



## 報告

大間原子力発電所について	15
--------------	----

## 経営編

### 企業価値向上を支える取り組み

コーポレート・ガバナンス体制	19
危機管理とその体制	20
コンプライアンス	22
情報セキュリティへの取り組み	23

## 社会編

### Part 1 電力安定供給への取り組み

電力安定供給への貢献	25
電力安定供給を支える技術開発	31
海外での取り組み	33

### Part 2 コミュニケーションの充実に向けて

J-POWERグループの社会との共生	35
事業活動の推進にあたって	41
人財育成と活力ある職場づくり	43



## 環境編

### Part 1 J-POWERグループの環境経営

J-POWERグループ環境経営ビジョン	49
事業活動と環境(2011年度)	53
環境会計／環境効率	54

### Part 2 地球環境問題への取り組み

J-POWERグループの地球環境問題への取り組み	55
石炭火力発電の低炭素化の推進	57
次世代の低炭素技術の研究開発	61
CO <sub>2</sub> フリー電源の拡大	63
省エネルギーの推進・京都メカニズムの活用など	68

### Part 3 地域環境問題への取り組み

石炭火力発電所の環境保全対策	71
循環型社会の実現に向けて	73
生物多様性保全への取り組み	75
化学物質等の管理	77

### Part 4 透明性・信頼性への取り組み

環境マネジメントの継続的改善	78
----------------	----

## 社外の評価・意見

読者からのご意見	80
第三者からのご意見	81
本レポートの正確性等	83

## 資料編

主なJ-POWER事業所一覧／ 主な連結子会社一覧	85
コンプライアンス行動指針／ 電気事業における生物多様性行動指針／ ISO14001認証取得事業所等一覧	86
環境関連年度別データ	87
J-POWERグループの環境ビジネス	89
環境会計データ一覧	91
温暖化対策に関する条約など	92
電気事業における環境行動計画	93
用語解説	94

本文中、 マークのある用語については同じページ下段のDictionaryに、 マークのある用語については巻末の用語解説に掲載しています。